

CCUSの早期社会実装のための脱炭素・循環型社会モデル構築事業 (一部経済産業省連携事業)



【令和2年度要求額 9,000百万円 (7,220百万円)】

CCUS (CO₂の分離回収・有効利用・貯留) の技術等の確立を行います。

1. 事業目的

2030年に向けて本格的にCCUSを社会実装していくため、商用化規模におけるCO₂分離回収・有効利用技術等の確立とともに、脱炭素・循環型社会モデルの構築・普及展開を行う。

2. 事業内容

脱炭素化のためには、CO₂排出削減に努めるとともに、排出されたCO₂を回収・有効利用・貯留するCCUSの社会実装が必要。このため、以下の事業を実施する。

(1) 二酸化炭素貯留適地調査事業 (経済産業省連携事業)

海底下地質の詳細調査を実施し、CO₂の海底下貯留に適した地点の抽出を進める。

(2) 環境配慮型CCS実証事業

CO₂分離回収設備の建設・実証により、排ガス中のCO₂を分離回収する場合のコスト、環境影響等の評価を実施する。また、社会実装に向けた分析・啓発等を通じ、我が国に適した円滑な導入手法を取りまとめる。

(3) CO₂の資源化を通じた炭素循環社会モデル構築促進事業 (経済産業省連携事業)

炭素循環のモデル構築にあたり、①産業施設等の排ガスや周辺大気から回収したCO₂を原料とした化学物質を社会で活用するモデル、②CO₂の資源化に適用可能な人工光合成技術を活用するモデルを構築し、CO₂削減効果等の検証・評価を行う。

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託
- 委託先 民間事業者・団体、大学、公的研究機関 等
- 実施期間 平成26年度～令和4年度

4. イメージ

CO₂回収実証プラント
(回収能力：500 ton-CO₂/日、稼働予定：2020年)



排ガス中のCO₂を原料とし、水素・触媒等を利用したメタン・エタノール製造を実現

